ぐんま こどもの国児童会館通信
GUNMA CHILDREN'S MUSEUM NEWS

第 3 号
1991年10月1日
編集・発行所
「ぐんまこどもの国児童会館」
㈶群馬県児童健全育成事業団
〒373 太田市大字長手字拾八曲り480
TEL 0276(25)0055㈹
FAX 0276(25)0059
印刷所
上毛新聞社
〒371 前橋市古市町1-32-20
TEL 0272(51)4341㈹

掲示板などに掲示して下さい。

アルバム Summer

'91 7月21日～8月30日

夏休み入館者なんと八万人!!

七月二十一日から始まった夏休み。毎日たくさんのお友だちが遊びに来てくれました。
ぐんまこどもの国児童会館では、多くのお友だちが楽しく過ごせるように、いろいろな催し物を行いました。
さあ、一緒にこの夏を振り返ってみましょう。
（君はいくつ参加したかな？）

7/21 ビデオで見る！知られざる虫たちの世界（～8/4）
24 夏休みこども学習相談（～8/30）
26 こどもパソコン体験教室
28 夏休み一日造形教室「親子でいすをつくろう」
8/3 夏休み一日造形教室「ステンドグラスで飾ろう」

最新ハイビジョン展「ハイビジョンで遊ぼう」（～8/18）

夏休み特別上映「ハイビジョンで見る大英博物館」（～8/18）
おはなしの部屋
6 パソコン講座（～8/9）

10 ビデオで見る！知られざる虫たちの世界（～8/22）
17 やきもの教室Ⅱ「土鈴をつくってならそう！」
こどもの国スターフレンド
「天の川と夏の星座を見よう!!」
20 こどもの城合唱団コンサート（～8/21）

24 「こども実験室」（夏休み特別教室）（～8/25）

こどもパソコン体験教室
やきもの教室Ⅱ「土鈴をつくってならそう！」

民話劇、グリム映画、そして スウェーデンの絵本がやってくる！

開館1周年記念行事

白夜の国のおくりもの

スウェーデンの絵本画家
イロン・ヴィークランド絵本原画展

●イロン・ヴィークランド
1930年エストニアに生まれる。1944年難民としてスウェーデンに来る。1954年よりアストリッド・リンドグレーン（写真右）と一緒に仕事を始める。エルザ・ベスコワ賞（1969）スウェーデン作家基金賞（1972）など数々の賞に輝く。

沈まない太陽、神秘的な森と湖、古城や貴族の館、多くの伝説etc。スウェーデンを舞台に絵本画家として活躍しているヴィークランドの絵本原画展を開催します。

皆さんはスウェーデンを知っていますか。当館ではそんな美しい大地、ヴィークランドは現代スウェーデンを代表する絵本画家です。あの「長くつ下のピッピ」で有名な作家リンドグレーンとともに多くの絵本を生み出してきました。情感あふれる二人の絵本は世界中のこどもたちに親しまれています。
原画五五点の展示の他、映画「やかまし村のこどもたち」のビデオ上映会、「ロッタちゃんとじてんしゃ」など絵本の読み聞かせ、中世帆船博物館をはじめとしたスウェーデンがよくわかるビデオ解説、また原書本の見本市など、北欧ムードがいっぱい。「白夜の国のおくりもの」で思いきりスウェーデンを感じてね。
出展作品は「やかまし村のクリスマス」、「やねの上のカールソン」、「ロッタちゃんとじてんしゃ」、「はるかな国の兄弟」、「マディケンとリサベット」、「山賊のむすめローニャ」、「赤い目のドラゴン」、「シン・シェルピング」。

11月2日～24日
2階 多目的ホール

劇団えるむ 公演 民話劇 地べたっこさまやあ～い

激しい競争社会の現代、やさしい心こそがもっとも大切なのだという思いを込めた作品です。ぜひみにきてくださいね。

10月20日
2階 多目的ホール
— こども観劇会 —

第2話「おこんじょうるり」より

「地べたっこさまやあーい」は、さねとうあきら原作、ふじたあさや脚色・演出の「かっぱのめだま」「おこんじょうるり」の二話からなっています。
（かっぱのめだまあらすじ）
あるとき、皮商人が人間になりたがっているカッパに言った。「人間はもとはカッパだった。勇気のあるカッパが背中のこうらを太陽にあてて溶かして人間になったのだ。人間になりたかったらそれをやってみろ！」と。だまされたとは知らぬカッパはこうらぼしを続けるが……。
（おこんじょうるりあらすじ）
おまじないもお祈りもきかなくなって、困り果てたイタコのばばさまが、ケガをして寝込んでいた。そこへ子ギツネ「おこん」がじょうるりをひとうなり。するとばばさまのケガが治ってしまった。「おこん」はどんな病気も治すと大評判になった。がそんなある日……。
劇団えるむは、一九七五年発足。代表作「ペッカンコおに」。数々の賞を受賞。多くのこどもたちに楽しまれています。

開館1周年記念行事 スクスク育って満一歳!!

「ぐんまこどもの国児童会館」は、おかげさまで十月二十一日満一歳の誕生日を迎えます。今年八月には、お迎えしたお客さまの数もついに四十万人を超え、こどものためのユニークで健全な施設として、人気を集めております。
当館では、この一周年にあたり、未来への展望を高め、内容をより充実させるために、全館を挙げて記念行事に取り組んでいます。
ここに、その柱となる「イロン・ヴィークランド絵本原画展—白夜の国のおくりもの」、「こども観劇会—地べたっこさまやぁーい」「秋のこども映画会—長ぐつをはいたねこ」についてご紹介します。

グリム童話を映画で観よう！ 長ぐつをはいたねこ —秋のこども映画会—

これは今から、遠い何百年も昔のお話です。
長靴をはいた猫のペロは、猫の仲間たちからは追い出されてしまいましたが、頭の良い勇気のある猫でした。ある日、心の優しい青年ピエールと出会い、二人は旅に出ることになります。
ペロは、ピエールのために恐ろしい魔王をやっつけたりと大活躍ー。
愛と冒険のお話がぎっしり詰まったアニメーション映画です。
さあ、ペロとピエールはどうなるのかな。

10月27、28日多目的ホール

ボランティア募集

ぐんまこどもの国児童会館では、各室事業および季節行事・企画行事等に協力してくださるボランティアを募集しています。
児童会館が生き生きと機能し、こどもたちにとって魅力ある場となるよう熱意あるみなさまの応募をお待ちしています。

○活動内容
児童会館が行う各室事業、企画事業等の企画、運営

○応募資格
十八歳以上の男女（ただし、高校生で希望してくださる方は受け付けます。）
熱意があれば、特に専門知識技術の有無は問いません。

○募集定員
サイエンスワンダーランド（5人）、スペースシアター（35人）、クラフトルーム（15人）プレイルーム（15人）、こども図書室（10人）、パソコンルーム（8人）、ビデオライブラリー（5人）、企画事業（15人）
※各室ごとに、定員になり次第締め切ります。

○受付期間
平成3年10月20日（日）まで

○申込方法
所定の申込用紙に必要事項を記入のうえお申し込み下さい。また、電話でも受け付けます。

○その他
応募者は、後日ボランティア講習会を受講していただきます。
の休館日（月曜日、月末）を除く毎日、午前9時～午後5時

問い合わせは ☎0276-25-0055まで

おはなしの部屋」でストーリーテリングをするボランティア

ぐんまこどもの国児童会館 インフォメーション

開館時間：9：30～17：00
休館日：毎週月曜日（祝日を除く。祝日の場合はその翌日）
毎月の月末（日曜日、祝日を除く）
年末年始（12月27日－1月5日）
特別休館日（6月、9月、12月、3月の第2火曜日・水曜日）
交通：東武桐生線三枚橋駅より1.5km（徒歩20分）
東武伊勢崎線太田駅より5km（タクシー10分）

■問い合わせ ☎0276（25）0055まで

■開館一周年記念行事

こども観劇会
「地べたっこさまやぁーい」
▼10月20日(日) 11時～12時30分 14時～15時30分
2階多目的ホール

秋のこども映画会
「長ぐつをはいたねこ」
▼10月27日(日)、28日(月) 10時30分～11時50分 14時～15時20分
2階多目的ホール

イロン・ヴィークランド絵本原画展
—白夜の国のおくりもの—
▼11月2日(土)～11月24日(日) 9時30分～16時30分
2階多目的ホール

「熱気球から こどもの国を見てみよう！」
▼11月4日(月) 6時～11時
わんぱく広場

■スペースシアター

プラネタリウム
「ムーンライトファンタジー」
▼12月8日(日)まで

全天周映画
「グランドキャニオン」
▼10月25日(金)まで
「グレートバリアリーフ」
▼10月26日(土)～4年4月24日

■サイエンスワンダーランド

展示室
楽しさと驚きにあふれた科学装置がいっぱい！

ハイビジョンシアター
「アドベンチャーぐんま」上映中

■プレイルーム

就学前児童と保護者のみ利用可
自由利用 10時～12時30分 13時30分～16時30分
「ブロックすきな子あつまれ！」
▼10月13日まで
「ちからいっぱいあそぼう」
▼10月19日～11月17日
「どうぶつおもちゃであそぼう」
▼11月23日～4年1月7日

■クラフトルーム

自由利用 10時～11時30分 12時30分～16時30分

木とあそぼう！
「くっつけむし」
▼10月6日まで
「はっぱのこすりだし」
▼10月10日～11月4日
「木の実のマラカス」
▼11月9日～12月1日

秋のわくわくワークショップ
「まめふりだいこ」
▼10月12日 15時～16時30分
「パラシュート」
▼10月26日 15時～16時30分

やきもの教室Ⅲ
「七宝焼—光とガラスのキーホルダー」
▼11月24日(日) 10時～15時
小学校4年生以上25人
参加費 400円
◎昼食は各自持参
申込期間 11月1日～20日

■ビデオライブラリー パソコンルーム

親子パソコン教室
▼11月17日、24日、12月1日、8日（日曜日の4日間）
10時～12時
小学4・5年生とその親20人
申込期間 10月10日～11月10日

■こども図書室

おはなしの部屋 3階研修室
「おいしいおはなし なんでしょう」
▼10月5日(土) 15時～15時30分
「むかし、むかし……」
▼11月2日(土) 15時～15時30分

読み聞かせボランティアの集い
当館のボランティアを対象に活動計画の協議と講習会を行います。
▼10月6日(日) 13時30分～16時
3階研修室
講師 波木井やよい 先生

■こども相談室

講演会「今のこどもを考える」—学校へ行けない子どもたち—
学校不適応児（登校拒否）の防止や早期解決のために、保護者、そして教職員の方々を対象に講演会及び懇談会を開催します。
▼10月12日(土) 13時30分～15時30分
3階研修室
講師 園田 健司 先生

ようこそ児童会館へ

臨場感あふれる映像
スペースシアター

スペースシアターでは、「全天周映画」と「プラネタリウム」を上映しています。大きなドームの直径は一八メートル、一八二の座席が並んでいます。

「全天周映画」―これはドーム全部が映画のスクリーンとなり、臨場感あふれた映像が映し出されてくるものです。自分がその映画の中にいる気分になってしまいます。迫力満点、スリルと興奮に満ちた場面に遭遇し、思わず声を上げてしまうことも。

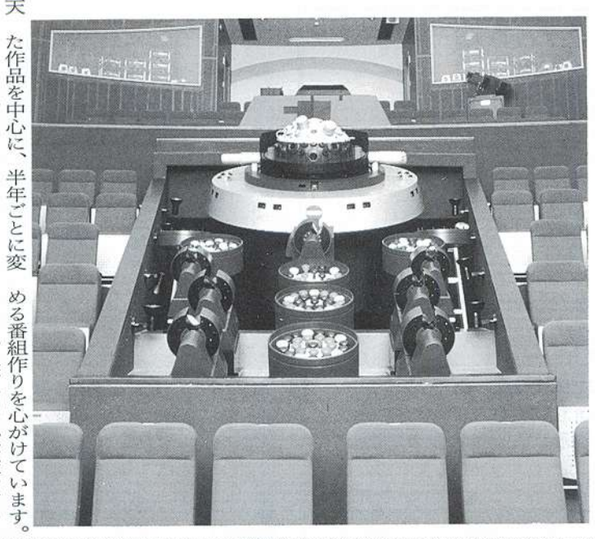
番組は、アメリカで制作された作品を中心に、半年ごとに変わります。これからも、どんどん楽しい番組を上映していきます。

昼間なのに夜空が見える所、そこが「プラネタリウム」。ドーム一杯に満天の星が広がります。惑星や月・太陽も出てきます。地球を飛び出し、宇宙から太陽系を眺めることもできます。季節ごとに年四本、番組を制作しています。四季を追って変わる星座や宇宙を、神話や物語をとおして分かりやすく紹介していきます。幼児から大人まで楽しめる番組作りを心がけています。

また、保育園や小学校などの団体を対象として「学習投影」を行っています。子どもの発達段階や学習指導要領に見合った番組を用意しています。授業や行事の一つとして、ご利用ください。

「こどもの国スターフレンド」という天文教室や企画投影を年に数回開催します。テーマを決め、講師の方に解説してもらったり、夜間、公園で望遠鏡や双眼鏡を使い自分の目で本物の星を見てもらいます。土星の輪・星の輝き・月のクレーター等々。宇宙をずっと身近に感じることでしょう。

このように、皆さまに楽しんでいただけるように心がけています。ロマンと冒険のあふれるスペースシアターへ、ぜひ遊びに来てください。



プラネタリウム「ムーンライトファンタジー」より
アンドロメダ座のアンドロ姫いけにえの場面

全天周映画「グランドキャニオン」より

こどもたちへの手紙

連載――《1》

「こどもと遊び」

こどもの城企画部長　常藤恒良

はじめから失礼とは思いますが、一つ質問させてください。

「あなたは多くの友だちと、よく遊んでいますか」

この質問は二つの答えを求めているのです。まず「多くの友だちと」というところと、「よく遊んでいますか」というところです。

さあ、頭の中で日頃、つきあっている友だちの顔を思いうかべ、指を折ってみてください。五人以上の名前と顔がすらすらとうかんできましたか。あらためてたずねられると、本当に友だちと言える人は案外少ないのに気づいたのではありませんか。

次に「よく遊んでいますか」という質問では、回数や時間、またその内容からして答えにつまってしまいます。

遊びたいという気持ちはあるがあれも、これもやらなければならない、宿題も塾もテレビ番組も漫画もファミコンもと、課題ばかりに追いまくられて、遊び―本当に心の開放のある、もっと別の角度から見ると自分の内なる生命力の燃える瞬間のある遊びがないのに気づきませんか。

だから、「よく遊んでいますか」という問いに対してあいまいで、しかもしずんだ答え方しかできなくなってしまうのです。

これが現代社会の一面だ、仕方がないと言ってすごしていてよいのでしょうか。

遊びはそれがどんなかたちのものであろうと「その人の内なるものの自由な表現、すなわち内なるもの、そのものの必要と要求に基づくところの内なる表現に外ならない。この段階で人間の最も純粋な精神的所産である」とフレーベルはその著書の中で述べています。

こどもたちの間に「遊び」が少なくなっていることは、精神的所産が少なくなっているということで、心の糧を失っていくことを意味します。そのために、仕方がないと見過ごすことはできないのです。

このことが友だち関係の貧困にもつながり、実体験の不足にもつながり、生活技術の低下にもつながっているのです。そして「生」のほとばしる子どもらしい生命力が失われているのです。

では「どんな遊びをしたらよいのですか」と逆に質問されそうですから、答えておきましょう。

多くの友だちと、力いっぱい、自発的に、心を開いて、忍耐づよく、身体に汗して、疲れるまで夢中になれる遊びをして欲しいのです。こんな遊びがあるのと次の質問があるかも知れませんが、それはみんなの好奇心をかり立ててつくるもので、その時、その場での独創性が大切なのです。このように好奇心に発した遊びはあなたの心の中に生命のマグマをつくり、温かい心の思いやりのある人間になれる源となるでしょう。

その意味で、多くの友だちと、思いっきり遊んでください。それが幸せな人生につながるのだと思います。

風とあそぶ―風輪車・くるくる魚

子どもは風の子。北風に負けないくらい元気にあそぼう!!

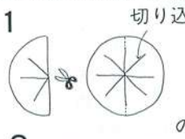
こんな遊び知ってる？
●工作遊び●

●風輪車●

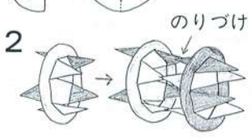
（材料）画用紙、コンパス（空缶などでもよい）、はさみ、のり、クレヨン

（作り方）①画用紙に円をかく。②きりぬいて半分におる。③はさみで切り込みをいれる。（図1）④たがいちがいにまげる。⑤同じものを二つつくり、のりではりつける。（図2）

図・1



図・2



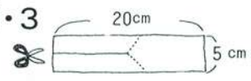
●くるくる魚●

（材料）画用紙（20×5センチメートル）たこ糸、ストロー、セロハンテープ、穴あけパンチ、クレヨン

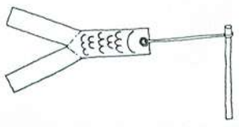
（作り方）①画用紙に切り込みを入れる。（図3）②はねをたがいちがいに折る。③穴をあけて、たこ糸をしばる。④たこ糸の先をストローにつける。（図4）

◇画用紙にクレヨンなどで模様をつけたり、切り方や折り方を工夫してみよう！

図・3



図・4



紹介します　わたしたちの児童館

榛東村児童館

〔所 在 地〕〒370-35　榛東村大字長岡1404-1
☎0279-54-7933
〔開館時間〕平日　10時～17時　土曜　10時～15時
〔休 館 日〕日曜、祝日、年末年始

榛東村児童館は、村の北端に位置し、西に水沢観音様、その奥に榛名の山並みを仰ぐという自然に恵まれた環境の中、昭和五十八年四月開館いたしました。

施設は、鉄骨平屋建て、延床面積一五七・五八平方メートルです。児童福祉法に基づく児童厚生施設で児童に健全な遊びを与え、児童の健康を増進し、情操を豊かにするとともに、子供会、利用児童のお母さん等の地域での活動の助長を図るなど、児童の健全育成を図るセンターです。

職員は、館長（兼任、村住民課長）、児童厚生員2人（常勤）です。村の端に位置することから利用児は少ないのですが、自然を満喫しての遊びを楽しむことができます。

当館は家庭的で温かい雰囲気の中で、もともと友達である児童が、校外で交わりながら遊びをとおして自主性を育むことができるよう、個別的にまた集団的に指導しています。

そして①思いやりのある児童（自分の尊さを知って他人の尊さも知る）②きまりを守る児童（履物を揃えると心も揃う。心が揃えば履物も揃う）③健全で明るく仲よく遊べる児童の育成につとめています。

主な行事は次のようなものです。

4月、春休み期間中の「餅つき大会」。これは、実施日の数日前より来館児と春の散歩会を行い、そんな散歩の中で、草摘みをし、子供たちの摘んだ餅草をお母さんたちの協力で全員で餅つきを体験します。8月、すいか割り、ぶどう狩り。12月、クリスマス会、ここでは利用児童のお母さんによる人形劇（手作りお母さん劇場）が実演されています。2月、節分（まめまき大会）。各家庭で忘れかけている昔からの伝統行事を、児童館で楽しみながら守ろうというねらいの行事です。

当館では行事予定などを、回覧板、有線放送を活用して広報し、児童館活動の発展につとめています。

手作りお母さん劇場

館林市児童センター

〔所 在 地〕〒374　館林市大手町10-55
☎0276-73-1522
〔開館時間〕水～日　10時～17時　火曜　13時～17時
〔休 館 日〕月曜、祝日、年末年始

私たちの児童センターは、市街地の中心部に位置し、隣接には、商工会議所、警察署に囲まれた公共地域にあります。近くには商店街などがあり、比較的遊び場の少ない環境です。

こどもたちには、自由にのびのびと遊べる活動の場として親しまれている状況で、日曜日も開所しているために、利用者も広範囲で市内・外にわたっています。

特に、夏季には、プールを開設するため、こどもたちが安全に遊べるということで、多くの方に利用されています。また、当センターの活動事業としては、親子クラブ（市広報募集）、各教室、自主クラブなどの行事を実施しています。

この親子クラブは、幼児（二・三歳児）を対象に、毎週木曜日・金曜日に、親子の制作・体操・リズム遊びなどをしています。教室としては、一般の幼児の親子を対象にして、幼児・工作・体操教室と児童対象の工作・紙粘土・手芸・料理教室などを月ごとに行っています。

特に、事業の中では、夏休みキャンプ教室（小学生25人を対象に他の児童館と合同で市内で一泊二日、センター独自を市外で二泊三日、親子陶芸教室（小学生と親を対象に15組）は、例年人気の集まる事業となっています。

その他の実施行事としては、季節や伝統行事をとり入れ、親と子のふれあいの場として、こどもたちを中心に交流ができる行事を行っております。

夏休みキャンプ教室

相談Q&A

こども相談室から

親も持てあます子どものしつけについて

Q　小学校４年生の男の子で、一人っ子。親の言うことは聞かない、気にいらないと暴れる、親にしかられる（打たれる）といつまでも泣きやまず、手がつけられない。どうしたらよいか。

A　小さい頃の養育で、やゝわがままにし、我慢させる経験がなかったのではないかと思う。小さい頃わがまま放題にさせ、大きくなって言うことを聞かないからといって子を責めるのはかわいそう。子を打つことはまず避けたい。

1、家が忙しくても工夫して一日一回は母親との会話や体でふれあい（マザーリング）を持つ。

2、子どもの失敗を後になってまで指摘したり、他の事まで引き合いに出さない。例えば夕方学校から雨に濡れて帰ってきた時「だから傘を持って行きなと言ったじゃない、いつもお母さんの言う事を聞かないのだから!!」と言わず「ぬれてきて大変だったね。早く着替えよう!!」と一言でよい。この母の温かい心や言葉こそ子を変える。

3、子が何かのトラブルで悲しみ泣いたら「お前もくやしかったろうね、よくわかるよ!!」と気持ちをくみまず共鳴してやる。この愛情と寛大さが親を信頼し良い親子関係を作りあげる。

4、親（特に母）の愛に十分甘えさせることと、親が甘やかすこととは全く別ものである。

○相談日　水・木・金・土
○時　間　9時30分～17時

なるほどサイエンス

Q　太田市の金山丘陵は大昔、海だったのですか？

●よく似た二枚の写真

この写真は、どちらも有孔虫という小さな海の生き物です。有孔虫は、大きくても数ミリメートルと小さく、たった一つの細胞からできています。そして、からだのまわりは、殻でおおわれています。

さて、左の写真は、房総半島沖の太平洋の海底の泥より取り出した有孔虫の死がいです。ポールが集まったような形をしている種類は、浮遊性種と呼ばれて、広い海に浮いて生活しているものです。

一方、右の写真は、子どもの国の北西にあるキャンプ場の入口の地層より取り出した有孔虫の化石です。有孔虫の殻は大変に丈夫で、古い地層の中にも残されています。化石を調べることにより、時代や昔の様子を知ることもできます。残念ながらこの写真の化石は、殻がとけてしまい、よく種類がわかりません。

●大昔の海

広い海にすむ種と同じような有孔虫が、金山丘陵の地層に含まれるということは、この地層ができたころ、このあたりには大きな海が広がっていたことを意味します。そして、その海は、年代測定などにより、今からおよそ1500万年の昔にあったことがわかっています。

また、この地層が多くの火山灰や軽石を含むことから、当時は、金山丘陵の近くに、活発な火山があったようです。

（太田市立毛里田中学校教諭　石川博行）

あ・ら・か・る・と　á la carte

6/22～7/7　七夕―星に願いを―

何をお願いしたのかナ？

7/6　おはなしの部屋

「海へでかけよう」

6/23 30　やきもの教室「どうぶつをつくろう」

お母さん、くまの形にしようよ

6/6・13・20・27　幼児クラブ"親子のびのびらんど"

音楽がとまったらピッととまります

6/23　おもしろ科学教室

ロケットを飛ばしてあそぼう

トピックス

八月三日(土)午後二時三十分からこどもの国『新田館』（大河ドラマ「太平記」のオープンセット）において新田武者出陣式が行われました。

呑龍太鼓、室町乙女踊りなどの披露の後、総大将（太田市長）をはじめ総勢八十八人の配役が整列。中世武士軍団の出陣風景が華麗に展開されました。

ミニ情報　行ってみたいメ　おもちゃ図書館

国際障害者年を契機として、障害のある子どもたちに遊ぶ楽しさと場の確保をするために、東京・三鷹市にボランティアによるおもちゃの図書館が誕生しました。以来その数も全国で四百館を超え、各地でたくましく発展の歩みを進めております。

当群馬県においては十七館設置され、障害の有無にかかわらず出会いの場、ふれあいの場として親も子も交流を深めています。

気に入ったおもちゃがあれば貸し出しますので、開館日を待ちかねて来館します。

人気おもちゃとしては、まず「ままごと」があげられます。木製、プラスチック等各種ありますが、レンジ・オーブン・冷蔵庫・流し台がセットされたミニ・キッチンが最高です。トースターは食パンがとび上がり、やかんはピーポー鳴りだします。

付属品として台所用品、食器類、デザート類、野菜等、食品もセットになっていて、おもちゃとも思えないデラックスさに、女の子も男の子も夢中です。

また、玉がころげ落ちながら音を出す「クーゲルバーン」「玉ころがし」、ビニール製のシートを足で踏むとドレミファのメロディーになる「メロディーステップ」……。ボランティアの手作りとしては、余り布を利用した「魚つりゲーム」も人気があります。

子どもの笑顔がうれしくて、ボランティア活動は今日も続けられています。

（ボランティア振興課・田村　純子）

ぐんま県央おもちゃ図書館
〔所 在 地〕：〒371前橋市国領町2-21-22
☎0272-31-6111
県立福祉会館ボランティアセンター会議室
〔開 館 日〕：毎月第２水曜日
〔開館時間〕：午前10：00～午後3：00

おもちゃと遊ぶ子供たち

編集後記

夏が終わり、コオロギが長い夜を伴奏するそんな季節になりました。早いもので今月は当館の開館一周年にあたります。

今回はイロン・ヴィークランド絵本原画展をはじめ、一周年記念行事のお知らせを中心に一面をまとめてみました。二面には新しく「なるほどサイエンス」、「こんな遊びしってる？」のコーナーを設け、こどもにも、児童健全育成にかかわっているかたにも、楽しめる情報を盛り込んでみました。

夏休みの間、連日たくさんのこどもたちが遊びにきてくれました。こどもたちと一緒に作った夏休みの楽しい思い出を一面にアルバムのかたちでまとめてみました。ぜひ、一緒にたどっていただけたらと思います。

「ぐんまこどもの国児童会館通信」に関するご意見ご要望を編集部あてにお寄せください。お待ちしています。（M・H）